

## 城ヶ島定例観察会(2015年)

2015年シーズンは、1～6月まで毎月第4日曜日に観察会を実施しました。結果をダイジェストでご報告します。なお、今シーズンも観察会終了後に周辺のテグスやプラスチック製品等のゴミ拾いを実施しました。ご協力いただきました皆様と清掃道具を貸与いただいた“かながわ海岸美化財団”にお礼申し上げます。

◆1月25日:快晴。北の風。気温は低いですが風は弱く、日差しがあって助かった。ユリカモメが多く、広範囲を飛び回るのが見られ、ミツユビカモメも少ないながら常に飛んでいた。目の前に突然ハンドウイルカの群が現れてびっくりしたが、水面下に小魚が多かったということかもしれない。ウミスズメは小群がいくつか海面に浮いているのを見たが、ウトウは1羽しか記録できなかった。**\*主な観察種:ハジロカイツブリ1、アカエリカイツブリ3、コクガン1、クロガモ2、ウミアイサ3、ミツユビカモメ48、ウミスズメ41、ウトウ1 など**

◆2月22日:小雨のち曇。北の風。風は弱く、海は凪。沖からウミスズメ類が2羽飛んできて着水したので見るとカンムリウミスズメだった。その後も1、2羽で飛んでいたり、海面に浮く姿をよく見かけた。ほかにも、2～10羽くらいの小群でウミスズメが頻繁に通過したり、マダラウミスズメやケイマフリなどウミスズメ類が多く、5種類を記録した。そして、沖にはオオミズナギドリの群がやってきた。**\*主な観察種:シロエリオオハム6、アカエリカイツブリ2、オオミズナギドリ100、クロガモ1、ウミアイサ1、トウゾクカモメ1、ミツユビカモメ21、ケイマフリ1、マダラウミスズメ1、カンムリウミスズメ25、ウミスズメ92、ウトウ22 など**

◆3月22日:晴。風もなく穏やかな陽気で、海上では北上して行くツバメを時々見かけた。海鳥たちも北上が活発化しているようで、移動していくウミスズメ、ウトウの数も増えてきた。カンムリウミスズメは2羽で飛んでいるか、浮いている観察例がほとんどだった。アビ類は少なく、今シーズンはやや低調な様子が伺えた。**\*主な観察種:シロエリオオハム1、オオミズナギドリ8395、クロガモ24、ウミアイサ2、ミツユビカモメ2、カンムリウミスズメ28、ウミスズメ186、ウトウ157 など**

◆4月26日:晴。微風。北上するウミスズメはさらに増えてきて、見応えのある10～20羽の群で移動する姿も何回か見かけた。それとは逆にカンムリウミスズメは2回しか確認できず、観察回数が減ってきた。オオミズナギドリの数は増えて帯状になって飛翔し、それらに混じってハシボソミズナギドリやアカアシミズナギドリ、クロアジアホウドリが飛んでいるのを記録した。アジサシも初認になったが、トウゾクカモメ類は確認できなかった。**\*主な観察種:シロエリオオハム11、クロアジアホウドリ1、オオミズナギドリ12157、アカアシミズナギドリ1、ハシボソミズナギドリ21、クロガモ3、アジサシ3、ケイマフリ1、カンムリウミスズメ2、ウミスズメ220、ウトウ17 など**

◆5月24日:曇。朝のうちは南西の風が強く、雨粒がポツポツ飛んでくる状況だったが、風は徐々に収まった。1時間に1～2羽という感じで腰の白くないウミツバメ類が1羽ずつ計9羽通過したが、いずれも遠くて同定できなかった。ハシボソミズナギドリが頻繁に通過し、シロハトウゾクカモメは3羽を記録したが、ほかのトウゾクカモメ類は確認できず。対岸の伊豆半島の建物がくっきり見え、視界が非常に良い日だった。**\*主な観察種:シロエリオオハム1、オオミズナギドリ6240、ハシボソミズナギドリ303、シロハトウゾクカモメ3、アジサシ44、ウミスズメ38、ウトウ1 など**

◆6月28日:晴。弱い南の風。海鳥は低調だったが、オオミズナギドリが近くで鳥山を作り採食する姿を観察した。ほかにハイロミズナギドリや大型の不明アジサシ類などを記録。**\*主な観察種:オオミズナギドリ28542、ハシボソミズナギドリ3、ハイロミズナギドリ1、アジサシ類1、ウミスズメ3 など**

※オオミズナギドリのカウント方法は、観察場所の前を通過する群を1分間カウントし、それに観察時間を掛けて算出しています。

写真:観察会の様子(2015年1月25日)  
(C)城ヶ島沖の海鳥観察グループ